

農業女子のための機械研修会の開催 (留萌農業改良普及センター)

背景

【留萌管内の概要】

- 留萌管内は北海道の北西部に位置し、日本海に沿って南北に細長く、北と南で気候が異なることから、北部は畜産、中部は稲作・畑作・野菜、南部に稲作・果樹を主体に多様な農業が営まれている
- 農業後継者の減少、農業者の高齢化や離農が進み、農家戸数は、H22年度の1079戸から、R2年度は744戸と減少している

【地域の課題】

- 農家戸数減少により、今後1戸当たりの経営面積拡大が見込まれる。経営面積が拡大した場合、それに対応する作業の効率化が求められている
- 労働力の不足に対応するため、スマート農業機械などの導入が望まれるが、スマート農業機械の認識が低く、導入が進んでいない

普及活動内容

- 「農業女子のための機械研修会」を開催

若手女性農業者を対象に、「スマート農業技術の体験」と「農作業機械の仕組みや操作方法の習得」を目的に開催。

■ スマート農業機械の操作体験



自動操舵トラクタ



撮影用ドローン

■ スマート農業機械の実演



ロボットトラクタ



農薬散布用ドローン

協力：(株)ヤンマーアグリジャパン北海道支社 (アグリガールズプロジェクト)

普及の成果

【具体的な成果】

- スマート農業機械に対する理解
 - ・参加した女性農業者は、機械作業の経験年数が浅かったが、機械を操作体験したことで、スマート農業技術の有効性について理解が深まった
 - ・自動操舵システムや農薬散布ドローンなど、今後導入を考えたいとの意欲的な意見も聞かれた

【参加者からの声】

「女性だけで楽しく学べた」
「また機械の研修を企画してほしい」
「今までトラクタの運転はかぞえるほどだったけど積極的に運転したいと思った」

【成果のポイント】

- 実際にスマート農業機械を体験することで、スマート農業を身近なものと感じてもらえ、理解が深まった